



新年のごあいさつ

平成20年元旦



神埼市長 松本 茂幸

明けましておめでとうございませう。皆様には、ご家族おそろいで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、合併をして2年目を迎え、新生神埼市の礎を築く大切な一年と位置づけ、今後10年間を一区切りとする「神埼市総合計画」の策定に取り組みました。市民の意見を広く拝聴して策定するため、昨年2月14日、一般市民からの公募委員を含む「神埼市総合計画審議会」へ、また、合併に伴い神埼町、千代田町および脊振町の地域審議会へ当該計画案を諮問いたしました。十分な審議と検討を重ねていただいた結果、11月12日に答申書をいただ

きました。最終調整を行い、「神埼市総合計画基本構想」を定めるため、市議会12月定例会に提案し、承認されました。

国の地方分権政策、三位一体の改革に伴う地方交付税の減少は、地方の歳入減に大きく影響し、神埼市においても財政事情は極めて厳しい現状にあります。このため、市では、行財政改革に取り組み、昨年7月以降は特別職の給与削減(市長5%、副市長4%、教育長3%)と管理職手当の20%削減を行い、また、市議会12月定例会には行政改革関連の改正条例案の7件を提案し、可決されました。これらの内容につきましては、改めてご報告させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。私は、市民と市との意思の疎通が一番大切であると考えております。このため、昨年6月に市職員の公務員としての理解と協力により「市の考えを市民に、市民の考え

を市の窓口に」と伝えてくれる地区担当職員の選任を行いました。まだまだ期待通りの働きにはなっていない面もありますが、うまく機能できよう皆様と一緒に地区担当職員制度を育てていきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

昨年は、市民の皆様の安全安心を確保するためのハザードマップの作成と防災組織の充実、旧町間の主要道路の防犯灯設置などの推進を図りました。特に、JR北側のパインピアの地域住民の皆様は、大雨による洪水被害から身を守る自主防災組織を結成し、その活動を展開されています。このパインピア防災組織、活動をモデルとして市内全域に広がれば、安心のまちづくりにより近づけるものと考えます。

また、ちよだ保育園の建設については、園児の安全性、快適性を第一に考え、採光や衛生、園児および職員の疲労

軽減などを考慮した材料の使用など、大きく設計変更を行い、いろいろとご心配をおかけいたしました。近く待望の落成の運びとなりました。これも市民の皆様のご理解とご協力の賜物とお礼申し上げます。開園および運営に際しましては、更なるご協力をお願いいたします。

その他、ふるさと夏まつりの開催、一周年記念事業の実施などたくさん取り組みを行なってきました。

本年は、昨年に継続し、神埼市の礎を築く年として策定した「神埼市総合計画」に基づき、実施に努めることとなりますが、市民の安全に関する防災などについては、最優先して取り組むこととします。

神埼市の発展は、三地区の市民の心をひとつにしてこそ臨めるものと考えており、市民相互の交流と融和を図る施策にも積極的に取り組んでまいります。

<主な遺跡・文化財>

時代名	遺跡・文化財名
旧石器時代	船塚遺跡（神埼）
縄文時代	古賀ノ尾遺跡（脊振）、城原一本松遺跡・荒堅目遺跡（神埼）
弥生時代	吉野ヶ里遺跡（神埼）、詫田西分遺跡（千代田）
古墳時代	馬郡竹原遺跡群・朝日古墳・伊勢塚（神埼）
奈良・平安時代	馬郡竹原遺跡群・日の隈山烽火跡・古代官道（神埼）、脊振山岳信仰遺跡と脊振神社（脊振）、神埼荘と櫛田宮・高志神社（脊振・神埼・千代田）
鎌倉・室町時代	後鳥羽上皇と鳥羽院（脊振）、勢福寺城跡と城下町・姉川城跡（神埼）、直鳥城跡（千代田）、環濠集落（神埼・千代田）
江戸時代	長崎街道と神埼宿・ひのはしら一里塚（神埼）、境原宿（千代田）、脊振往還（神埼～脊振）、佐賀藩台場跡・伊東玄朴旧宅（神埼）
明治時代	九年庵（神埼）、めがね橋・広滝発電所（脊振）、下村湖人生家（千代田）

<伝統芸能>

仁比山神社の御田舞、尾崎太神楽、締元行列、横武の百手祭り（神埼）、高志狂言、冠者神社の獅子舞・女浮立、姉の七福神（千代田）など

市の財政事情が極めて厳しい状況にあることから、財源確保を図るための企業誘致政策を優先に取り組みとともに、少子化対策、子育て支援対策、高齢者対策、教育（学校・社会）対策、環境対策、農業対策、さらにインフラ整備としての連絡道路（千代田から神埼への南北中心道路）の建設などの地域活性化対策に取り組んでまいります。

神埼市内には遺跡・文化財など数多くの歴史文化遺産が所在しております。このため、多くの方から「吉野ヶ里歴史公園を核として、これらの貴重な遺跡・文化財などを活用して神埼市の活性化を図るべきだ」「滞在型の観光を目指すべきだ」などといった提案をよく拝聴しております。

旧石器時代から江戸・明治時代にかけて多くの重要な遺跡・文化財のほか伝統芸能も伝承され、さらに、古代から中世の歴史地名である条里地名が残り、現在も行政地帯として継続されるなど、現在の生活の中に歴史が息づいた郷土であります。これらの全国に誇る文化遺産、歴史遺産を活用して、神埼市の活性化を図る方策について夢を大きく膨らませ、現在、思索しているところであります。

例えば、「日本史修学の特別地域」の指定などができないか、国や県などに相談、お願いしながら、夢実現の一步を踏み出せる年にできればと考えております。

最後になりましたが、神埼市の発展と市民の皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。



神崎市議会議長

藤瀬 光正

謹んで新春のお慶びを申し上げます。市民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

輝かしい平成20年の年頭にあたり、神崎市議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、旧脊振村、神崎町、千代田町の3町村が合併して早や2年目の年でありましたが、地方公共団体を取り巻く環境は、少子高齢化、情報化、国際化の進展など大きく変化しており、財政面でも地方交付税の削減をはじめとして、市にとっても依然として厳しい状況が続いてまいりました。

このような状況の中で、夏の甲子園での佐賀北高校

の優勝や佐賀で開催された全国高校総体での高校生の活躍は、県民に「夢」と「感動」を与えてくれました。一方、景気の状態においては一部の大企業には高収益の報道がなされている中で、中小企業、小売店、他の職業や個人にとっては、原油の高騰が直接市民生活に影響を及ぼすなど、好景気の実感はほとんどないように思われます。

さて、本年は3町村の合併後3年目を迎えるわけですが、市の一体感を一日でも早く醸成するためにも、地域間を是正し、旧町村間の交流が積極的に行われるように期待しております。また、合併後の市の発展は市民共通の一致した願いであり、市政に対する市民の皆様への要望はますます高まり、今年、神崎市にとって極めて重要な年になると思われます。

神崎市議会といたしましても、執行機関と互いの知恵を出し合い、市民の高まる要望に的確に応え、明る

く住みよい調和のとれたまちづくりのために、ひいては地方自治の本分である住民の福祉の向上のために、努力を惜しまない覚悟で取り組んでいきたいと考えております。

厳しい財政状況の中で、行財政改革の推進、新市の長期総合計画などまだまだ行政課題は後を絶ちませんが、新市まちづくり計画のスローガンであります「自然と歴史と人が輝く未来都市」の実現に少しでも近づくとともに、市議会議員一丸となって努めていきたいと心を新たにしているところです。

最後になりましたが、本年もより一層のご支援、ご協力を申し上げますと共に、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたします。あいさつといたします。



明けましておめでとろーございませす

各部ごとの昨年の取り組み、 本年の取り組みについて紹介します

〈総務部〉

昨年は、組織機構や事務事業の見直し、危機管理体制の整備など、市民の皆様に分かりやすい改革や計画策定に努めてきました。

市民の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

市の財政事情は、国の三位一体の改革により厳しい状況に変わりありませんが、時代の潮流を見据えながら、総合計画・行財政改革プランに沿った財政運営に努め、自主財源の確保や事務事業の重点的・効率的な予算編成に取り組めます。

また、昨年に引き続き、市民に分かりやすく・利用しやすい組織機構・事務事業の見直しや、市民の安全・安心を

確保するため、交通・防犯・防災分野の整備充実を図り、安全性の向上に取り組みます。

開かれた市政に向け、更なる職員の意識改革に努め、積極的な情報公開を推進し、本年も職員一丸となって頑張ります。





教育長 實松 信子

振り返れば、昨年は亥年の名のおり、猪突猛進の感じで過ぎていきました。

教育委員会では、3町村の合併による「広がり」から充実の「深まり」をめざして取り組んできたところです。

まず、学校教育については、特色ある学校づくりのための「校長裁量予算」の設定、教育支援振興プロジェクトによる「神埼プラン」の策定、児童生徒の自立支援のための教室「かけはし」の開設、市内小中学校開放「市民学校参観日」の実施、いじめや子育ての「悩み相談電話」の設置などに取り組んでまいりました。市民の皆様による見守り隊や交通指導などのご支援により、児童生徒が安全に生き生きと活動でき、感謝しております。

す。

社会教育については、文化祭、子ども音楽の集い、子どもまつり、体育大会、放課後子どもプラン、青少年育成市民会議関係行事など各種団体および教育委員会主催の行事を展開しました。

また、昨年12月には、待望の千代田図書館（蔵書数2千冊）を開室できました。しかし、まだ諸行事の精選・統合をはじめとする条件整備問題が多く残されています。

特筆したいことは、全国高等学校総合体育大会において、本市が、ハンドボール競技のメイン会場となり、また、登山競技の会場と



▲高校生一人一役により支えられた高校総体

なったことです。市民の皆様のご協力と高校生の一人一役により「おもてなし」の心の行き届いた大会が開催できました。また、昨夏は市内在住の高校生のスポーツ面の活躍が市民の皆様には大きな感動と勇気を与えてくれました。高校生や青年の皆様には、次代の神埼市を支える存在として、今後ますますの活躍を期待したいところです。

本年は、子年。ねずみの勤勉さに負けないように、教育三法の改正を基に、改革の時代の波を生かしつつも、変えてはならない教育の「不易」の部分の充実を目指してまいります。また、市民の皆様のご協力、活動の場、協働の場の新たな出現を図りつつ、歴史・文化の「まち」の特性を生かし、品格ある神埼市教育の構築を目指して教育委員会職員が心一つにして努めます。

今年も市民の皆様のご理解とご協力を切に願います。年頭のあいさつといたします。

〈企画部〉

昨年は、神埼市のキャッチフレーズである『自然と歴史と人が輝く未来都市』の実現に向け、市民参加の中で、各審議会を設置し、「神埼市総合計画」を策定しました。

また、一方では、財政の健全化と自主財源確保のため、行財政改革に取り組みと共に、ふるさと定住事業・企業誘致・工業団地などを推進してきました。

本年は、合併した三町の均衡ある発展を図るため、地域の活性化と雇用の場の確保に努めながら、総合計画を有効なものとしていきます。『元気神埼市』を実現させるためには、皆様の総力を結集することが不可欠と考えます。そのスタートとして、市民の皆さんの親睦と融和を図るための市民交流祭に取り組みます。

なお、行財政改革の進捗状況については、市報かんざき2月号で皆様にお知らせします。

〈市民部〉

昨年は、本庁の市民課、健康増進課で毎週火曜日の窓口延長、10月には、パスポート業務の開始など窓口業務の充実およびサービスの向上に努めてまいりました。本年は、「住民基本台帳カード」の窓口交付開始を予定しております。

環境面では、豊かな環境・住みやすい街づくりを目指し、地球温暖化防止対策の推進を図るため、「環境基本計画」を策定し、ごみ減量化・地球温暖化対策に取り組んでまいります。

また、本年4月から、75歳以上（65歳以上で一定の障害のある方）を対象とした、後期高齢者医療制度、また、40歳から74歳までを対象に、新しい健診（特定健診）が始まります。メタボリックシンドローム該当者に対し、保健指導体制の充実を図ります。

皆様から「信頼と安心」の見える窓口として昨年以上に鋭意努力していきます。

〈福祉部〉

昨年は、神埼市の子育て支援の方針を示す「次世代育成支援行動計画」の策定、子育て家庭に対する一時保育事業や子育て支援センター事業などを重要施策として取り組んできました。

本年は、子育て家庭のさまざまなニーズにお応えし、4月に「ちよだ保育園」の開園、新たに取り組む「子育て相互支援事業」、既存事業の事業拡大など充実した子育て支援事業を推進します。



▲建設が進む「ちよだ保育園」

高年齢・障害福祉では、地域

包括支援センターの設置により高齢者の健康および介護相談の実施や筋力アップ事業などの介護予防事業、また、障害者自立支援法の制定により策定した「障害者福祉計画」に基づき、全ての障害者に対し、サービス利用の一元化を図ってきました。

本年も「健やかに安心して暮らせるまちづくり」を目指して市民の福祉の向上に努めていきます。

〈産業部〉

昨年は、農業の振興を図るため、品目横断的経営安定対策の導入、米政策改革推進対策、農村環境の整備・保全に努める農地・水・環境保全対策事業などを行いました。

本年は、農業の経営安定を図るため、認定農業者の規模拡大や営農組織の運営の充実に支援助を行い、長期的なビジョンについて議論を深め、農業者、農業者団体、

J A、市が一体となって事業推進に取り組んでいきます。



▲佐賀いちごブランド「さがほのか」

商工業については、最近の厳しい経済、社会環境の中、地域の発展、賑わいを少しでも取り戻すべく志を一つにしたまちづくりを地元企業、商工会と共に進めていきます。

そのための、商店街活性化のための施策を展開し、賑わいのある商工業の創出に努めていきます。
職員一丸となって諸施策に取り組んでいきます。

〈建設部〉

昨年は、神埼市の礎を築く年と位置づけ、生活基盤を支えるための道路改良事業、下水道事業、神埼中央公園整備事業、保育園建設などを行い、また、今後必要な事業の検討を行ってきました。

本年は、懸案の千代田町から脊振町までの南北道路の整備について、事業の着手に向けてスタートし、地域に密着した生活道路として計画していきます。

また、本年4月には、整備を進めてきた神埼中央公園整備事業（こどもの広場）が完成しますので、ご利用ください。
下水道事業も、地域再生計画に基づき汚水処理施設の整備を図っていきます。河川



▲神埼中央公園「こどもの広場」造成予定地

や水路の水質浄化のためにも、皆様のご理解をいただき、事業に取り組めます。
厳しい財政事情の中、安全・安心を目指して事業推進に努めてまいります。
皆様のご理解・ご協力をお願いします。

**職員一丸となり住民の福祉の向上と地域の活性化に努めてまいります
本年もよろしくお願ひします**